

# ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集  
 千葉県博物館協会  
 〒260-8682  
 千葉市中央区青葉町955番地  
 千葉県立中央博物館  
 TEL.043-265-3111

## 参加体験型博物館の挑戦 —千葉県立房総のむら—



春のまつり



子どもみこし

昭和61年4月1日に開館した「千葉県立房総のむら」は、参加体験型の博物館として県民の皆様に親しまれており、平成18年4月からは、現公益財団法人千葉県教育振興財団が指定管理者として館の管理・運営を行っています。

51ヘクタールにも及ぶ敷地を持つ館内は、大きく商家・農家などの「ふるさとの技体験エリア」と歴史と自然を学ぶ「風土記の丘エリア」とに分かれ、県内の遺跡から出土した考古資料を展示している「風土記の丘資料館」、江戸時代後期から明治時代にかけての県内の商家、武家屋敷、農家を再現した建物、文化財に指定されている民家・学校建築など、大小78棟の建物で構成されています。

このような環境のもと、房総の伝統的な生活様式や道具、ものづくりの技を、みる・きく・かぐ・あじわう・ふれる、の五感を通して直接体験するとともに、県内各地から出土した考古資料や、武家・商家・農家などの展示を通して歴史を学ぶことができます。実施している体験・実演・展示は、実に350種類以上にもなります。

博物館には、まず足を運んでもらう工夫が必要と考え、「春のまつり」、「むらの縁日・夕涼み」など、四季折々のまつりを年7回開催しています。子どもから大人まで楽しめる体験事業を組み入れてイベントを盛り上げるとともに、演武、民俗芸能の上演、企画展など数多くの催しを組み合わせることで、世代を超えて楽しめる博物館を演出しています。

今、利用者の立場に立った博物館はどうあるべきかが問われています。まつりでの演出をはじめ、体験内容の充実と演目（体験や実演などを「演目」と呼んでいる）の拡大、新規事業や重点事業への資金投入や人材確保、外国人利用者のためのパンフレット作成等々、現在の「房総のむら」は、指定管理者制度の利点を生かし、柔軟な運営によって、利用者の要望に応じてきています。このことは、指定を受ける前の平成17年度までの利用者数が20万人前後であったものが徐々に増え、現在では、27万人前後で推移していることに象徴されています。

ただし、制度上指定管理者は現在5年ごとに選定し直すことになっており、長期的な視野に立った調査研究及び人材育成に問題がないとはいえません。博物館における指定管理者制度導入という根本的な議論も今後必要となってくるのではないかと考えられます。本年度、第3期指定管理者としての事業が始まったばかりですが、30周年記念事業をにらみながら、すでに5年後の第4期指定管理者としての事業をも想定して活動しています。これからも参加体験型博物館の挑戦は続きます。

も  
く  
じ

- 参加体験型博物館の挑戦  
—千葉県立房総のむら—…………… 1
- 平成26年度総会報告…………… 2
- 平成26年度各委員会活動計画…………… 3

- 平成25年度研究報告会報告…4～5
- 秋から春の催し(10月～3月)…… 6
- 展覧会案内…………… 7
- 日誌抄・編集後記…………… 8

No. **134**  
 2014.9.30

## 平成26年度総会 県立中央博物館で開催

平成26年度千葉県博物館協会総会が、5月28日(水)千葉県立中央博物館講堂にて開催されました。

はじめに、川戸功一会長の挨拶に続いて、来賓である千葉県教育庁教育振興部文化財課学芸振興室長萩原恭一様よりご挨拶を賜りました。

次に、平成26年度顕彰として、下記5名の方が顕彰を受けられました。

領塚 正浩氏 (市立市川考古博物館)

小林 裕美氏 (千葉県立中央博物館)

村田 憲一氏 (千葉県立中央博物館大多喜城分館)

渋谷さゆり氏 (千葉県立美術館)

中松 れい氏 (千葉県立美術館)

続いて議事に入り、報告第1号として藤崎牧士史料館と吉澤野球博物館の退会が報告されました。

次に、議案第1～4号として、平成25年度事業報告、平成25年度一般会計収支決算報告、平成25年度基金収支決算報告、平成25年度一般会計及び基金収支決算監査報告が承認されました。

次に、議案第5号として役員の改選が行われ、13人の新役員が選出された後、千葉県立中央博物館の川戸功一館長が会長に選出されました。

次に、議案6～8号として、博物館資料救済体系構築決議、千葉県博物館協会会則の改正、千葉県博物館協会基金管理規程の改正が、議案9～11号として、平成26年度事業計画、平成26年度一般会計収支予算、平成26年度基金収支予算が審議され、案の通り承認されました。

なお、平成26・27年度の役員及び各委員については右記の通りです。



会場内の様子

会 長 川戸 功一 (千葉県立中央博物館)

副会長 橋本 豊 (DIC 川村記念美術館)

清藤 一順 (八千代市立郷土博物館)

理 事 < 広報委員会 >

湯浅 忍 (千葉市立郷土博物館)

駒見 和夫 (和洋女子大学文化資料館)

理 事 < 調査研究委員会 >

小野 祐司 (千葉県立現代産業科学館)

望月 幹夫 (松戸市立博物館)

理 事 < 研修委員会 >

石井 良幸 (木更津市郷土博物館金のすず)

穴戸 信 (佐倉市立美術館)

理 事 < 地域振興委員会 >

太田 文雄 (千葉県立関宿城博物館)

岡田 晃司 (館山市立博物館)

監 事 堀切 公雄 (市立市川考古博物館)

小川 昇 (流山市立博物館)

### ◇ 広報委員会

福田 久 (千葉県立房総のむら)

土屋 雅人 (千葉市立郷土博物館)

柏女 弘道 (野田市郷土博物館)

風間 俊人 (長南町郷土資料館)

田辺 昌子 (千葉市美術館)

### ◇ 調査研究委員会

尾崎 晃 (千葉県立関宿城博物館)

森 竜哉 (八千代市立郷土博物館)

手塚 雄太 (鎌ヶ谷市郷土資料館)

奥住 淳 (芝山町立芝山古墳・はにわ博物館)

### ◇ 研修委員会

井上 賢 (木更津市郷土博物館金のすず)

松本 太郎 (市立市川考古博物館)

小林 努 (千葉県立現代産業科学館)

松田 直子 (千葉県立美術館)

### ◇ 地域振興委員会

森田 利仁 (千葉県立中央博物館)

斎藤 明子 (千葉県立中央博物館)

乃一 哲久 (千葉県立中央博物館)

増崎 勝仁 (流山市立博物館)

高橋 誠 (鳴川市郷土資料館)

久野 一郎 (陸沢町立歴史民俗資料館)

(名簿順・敬称略)

## 平成26年度各委員会活動計画

### 広報委員会

本年度の事業は、会報『ちばの博物館』第134号、第135号の発行と、県博協ホームページの更新を行います。

『ちばの博物館』は、博物館協会の活動や、加盟館の紹介・行事案内などを掲載しているため、博物館利用者が協会及び加盟館の情報を知る広報紙としての役割を果たしています。

協会ホームページは、閲覧者がより気軽に協会活動の情報を知ることができるように、ページ構成の見直しを行っています。例えば、博物館資料活動のページを新たに設定し、ホームページから博物館資料の救済システムの情報を発信できるようにしました。

今後とも、加盟館の皆様には、情報提供や原稿執筆等のご協力をお願いいたします。

(広報委員会 土屋 雅人)

### 調査研究委員会

調査研究委員会では、平成26・27年度の研究テーマを「博物館・美術館の危機管理について-ローコストでできる日常管理-」に決定し、資料管理の中で起こり得るリスクとその対策について調査研究を進めることになりました。予算などが限られている中で、どのように資料を守り活用していくのか考えていきたいと思えます。

そこで、今年度は、加盟館の資料管理の状況や課題についてアンケート調査を行い、情報の収集をした上で、テーマの趣旨に沿って参考となる館等への視察を3箇所行う予定です。来年2月には、その成果に基づいて研究報告会を開催いたします。

(調査研究委員会 奥住 淳)

### 研修委員会

博物館で仕事をする上で、写真は欠かせないもののひとつといえるでしょう。チラシ、ポスター、パンフレット、図録、展示パネル、ホームページ等々、あらゆる場面で

必要となります。その場合、きれいでわかりやすい写真が望まれるわけですが、いざ撮影してみると、なかなか思い通りに写らないという経験をされたことはないでしょうか？

写真撮影の技術は一朝一夕で習得できるものではありませんが、よりよい写真が撮れるようになるための契機として、以下のとおり講習会を計画しています。

日時：平成26年11月14日(金)

10:30 (受付10:00) ~ 15:00

会場：千葉県立現代産業科学館

内容：博物館資料等の写真撮影について

講師：写真家 玉内公一 先生

なお、当日は午前中に講義、午後にワークショップを予定しています。

(研修委員会 井上 賢)

### 地域振興委員会

平成26年5月28日の総会において改正された会則に基づき、今年度から本委員会に、「博物館資料救済活動に備えた平時における活動の企画・実施等に関すること」が新たな役割として加わりました。このことについては、今後、全県加盟館を11の地域ブロックに分け、それぞれのブロックごとの会議を開催する予定です。さらに、各館の資料の属性、学芸員の専門性などの情報を収集し、更新する作業を行います。また来年2月を目的に、情報伝達訓練等を開催する予定です。これらのことにつきましては、博物館協会のホームページ及びブログ等にて、逐次お知らせします。

また例年と同じく、国際博物館の日を普及するためのポスターも制作いたします。

(地域振興委員会 森田 利仁)

ぬいぐるみの製造、販売  
株式会社 エスティー



可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。  
オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

文化財保存の  
エキスパート  
ECC 環境コントロールセンター

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理部)  
〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10  
TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402  
URL http://www.e-c-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板  
道路標識・街路表示板・観光絵看板  
各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗  
プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

有限会社 大窪美術工房

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地  
TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224  
E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

# 平成25年度研究報告会報告

## 千葉県博物館協会調査研究委員会

平成25年12月20日(金)、平成25年度千葉県博物館協会研究報告会が八千代市立郷土博物館を会場に行われた。午後1時30分に開会され、千葉県博物館協会会長の堀田広文千葉県立中央博物館長と、会場館である清藤一順八千代市立郷土博物館長から開会の挨拶があった。



▲開会挨拶する堀田広文千葉県立中央博物館長

### 1. 研究報告会の趣旨

今回のテーマは昨年度に引き続き「博物館・美術館が地域にできること－協働・共生を目指して－」である。報告に入る前に司会（尾崎晃）が趣旨説明を行った。

「協働・共生」と掲げたのは博物館・美術館が地域に根ざすため地域のさまざまな人達と、「共に働き、共に利益を得る」対等な関係の構築を目指す意味が込められている。今年度焦点を当てたのは大学と企業である。両者は地域における影響力や貢献度は大きなものがありながら、博物館との結びつきは弱く、またその関係はどちらかに依存する一方通行的であった。それはお互いの持っているものや求めているものを知らないから結びつきが弱いと思われ、互いの連携に積極的な事例報告を通じて相互理解を深め、新たな連携の可能性とメリットを探ろうとするのが今回の研究報告会の意図するところである旨を説明した。

### 2. 報告1 東京成徳大学人文学部教授 青柳隆志氏

最初に報告に上ったのは東京成徳大学人文学部教授青柳隆志氏である。青柳氏は「大学と博物館の連携の現状と課題－東京成徳大学の事例から－」と題して同大学

と会場である八千代市立郷土博物館の連携事業を軸に、どのようにして大学と博物館が強く結びつき、それが互いにメリットのある事業となったのか、それを継続していく上で何が重要なのかを報告した。

同大学に「日本伝統文化学科」が設置され、学芸員課程が創設された。最初は単に学生の実習先として一番近くにある八千代市立郷土博物館に協力依頼をする段階だったものが、同博物館で「伝統文化装束」の授業を行い、市民の皆さんに試着してもらったり、博物館を舞台に学生が企画展を実施したりして大学と博物館がまさに対等に連携する事業を行うようになった。互いの物品や資料を融通し合うだけでなく、人（学芸員・学生）も共に市民という対象に向かっていく。それが博物館の成果でもあり同時に学生の教育にも繋がっていったという、共に Win・Win の関係が構築出来た事例報告であった。



▲報告する青柳隆志教授

### 3. 報告2 和洋女子大学言語・文学系教授

駒見和夫氏

次に報告したのは和洋女子大学言語・文学系教授の駒見和夫氏である。駒見氏は「大学博物館活動と地域連携－和洋女子大学の事例から－」と題して、大学の出前講座の事例を中心に報告し、博物館の学習支援活動と大学生の社会実践活動の結合について考えを述べた。

同大学は大学独自に「文化資料館」を持ち、他の公立の博物館と変わることはない博物館活動を展開しているが、それとは別に同館の収蔵資料を学校等に持参し、大学生が児童・生徒とコミュニケーションをとり

ながら資料を説明し、児童生徒に資料や博物館への興味関心を呼び起こす活動を行っている。それは単に学校へのサービスで行っているものではなく、大学生自身の児童・生徒への説明の仕方やコミュニケーションのとり方を学ばせる計画的な教育プログラムとして位置づけられている。この活動によって訪れた学校では子どもたちが資料の内容を深く理解するだけでなく、地域の歴史や博物館に対し興味が高まったことが報告され、大学生の社会実践の学習の場にもなっているという事例報告であった。

青柳氏は大学が博物館を舞台に活発な連携事業を展開した事例を報告したが、駒見氏は大学自体が博物館となって学校に出向き、他の博物館では成しえない方法で博物館の目的を達成した事例である。そして共に共通しているのは相手と Win・Win の関係が構築出来ている点である。連携する相手とどのように関係を築くかの問題は後の討論での主要なテーマとなった。

#### 4. 報告3 米屋株式会社（成田羊羹資料館）

宮内智氏

最後に報告したのは成田羊羹資料館の宮内智氏である。宮内氏は「企業博物館と地域連携の課題」と題して企業博物館という立場で、同館の博物館活動の展開と、どう地域と連携してきたのかの事例を報告した。

同館は、成田の名物である羊羹に愛着を持ってもらうだけでなく成田という町の歴史や全国各地のお菓子文化というものへの興味関心を呼び起こすために設置された。館名が本来ならば「米屋羊羹資料館」とすべきところを敢えて「成田」の名前をつけたのはそうした事情による。

資料館として通常の展示の他に企画展の実施など活発な展示活動を展開する他に、米屋総本店内に「成田生涯学習市民ギャラリー」を設置し、週替わりで成田近隣のサークル活動の場としても提供している。この他にも総本店2階では毎週お菓子教室を実施し、和菓子作りの体験を行っており、応募者が多く抽選になることが多いという。

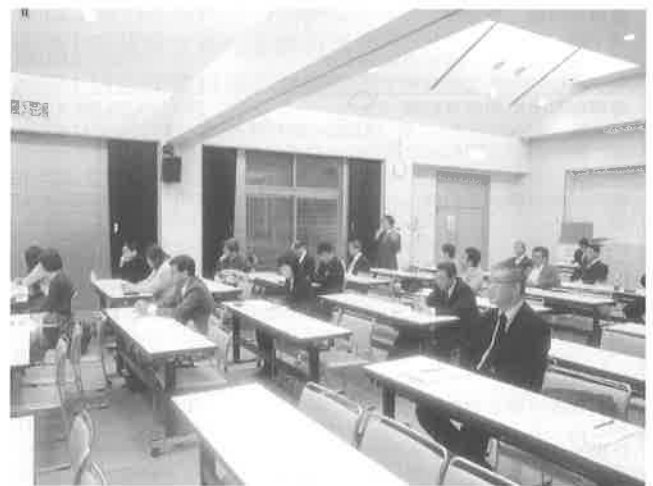
ただ、こうした活発な事業を展開していく上で、近隣の博物館との相互協力が大変重要な課題として挙げられる。展示テーマや資料探し等で近隣の博物館といかにして交流を深め情報交換をしていくべきかを模索しているという。

#### 5. 質疑・討論

以上3名の方の報告を基に討論に入った。司会は引き続き尾崎が行った。討論に入る前に2人のコメントーターからコメントをいただき、議論の突破口を開いてもらった。

まず千葉経済大学地域経済博物館教授の菅根幸裕氏から、地域の学校や博物館と大学が協働していくことは大学の広報活動にとって大きなメリットがあることと、学生が千葉県に愛着を持っていながら大学では千葉の良さを教えきれておらず、博物館の方から積極的に大学に来てそれを伝えて欲しい旨をコメントした。

次に千葉県立現代産業科学館普及課長の森田利仁氏からは、博物館がさまざまな所と連携を保つのは望ましいことだが、その関係は必ずしも対等とは言えないことと、大学との関係で言えば学芸員と教員との個人的な繋がりがあるうちは連携も成功するが、人が変わると形骸化する点を指摘した。



▲活発な討論風景

森田氏の指摘した点について、双方がメリットを感じていればそれが対等といえるのではないかという意見や、継続の一語を以て連携事業の成功とは言い切れず、形が変わっても良いし、継続しなくても失敗と見ることには出来ないのではないかとの意見も出された。

大学との連携については各館ともあまり豊富な経験を持たないせいか、どうやってアプローチしていけばいいのか戸惑っている観があった。青柳氏はまずは熱心な学芸員と教員という個人的な関係から始めて、次第にマニュアル化して組織対組織のレベルに高めていけば良いと指摘した。また博物館と企業との関係について博物館の側からも積極的に働きかけていくべきだとの意見が出された。

大学・企業との連携の必要性は認識しているものの、その最初の一步が踏み出せない、そんな博物館側のジレンマも会場で感じる事が出来た。ただそうしたジレンマも3人の報告と討議を通してかなり和らいできたようにも感じた。互いのコミュニケーション能力を高めていけばもっと両者と博物館は繋がっていくのではないかと感じさせる研究報告会であった。

## \*秋から春の催し (10月~3月)\*

館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●我孫子市鳥の博物館	TEL 04-7185-2212		●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2005	
展覧会	山階クワシの展-日本の鳥を6歳児と児童の貴重標本-	開催中~11月30日	展覧会	企画展「生物のデザイン-学ぶ-探る-の科学ミカタ-」	10月11日~11月30日
●市川市芳澤ガーデンギャラリー	TEL 047-374-7687		その他イベント等	クリスマスin科学館2014	12月6日~23日
展覧会	芳澤ガーデンギャラリー-開催10周年記念「安野光雅が描く野の花」展	開催中~11月30日	その他イベント等	スプリングin科学館2015	3月14日~22日
展覧会	第2回いちかわ未来の画家コンクール	12月20日~27日(夜賞式12月22日)	●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400	
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525		展覧会	地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿-野田-流山-海運へのターニングポイント-」	10月7日~11月30日
展覧会	原広司:WALLPAPERS	10月4日~12月28日	展覧会	パネル展「戦国武将-豊田氏の世界」	12月4日~1月9日
●いすみ市郷土資料館	TEL 0470-86-3708		展覧会	地井紅葉版画展-白と黒の世界part3-	2月14日~3月22日
展覧会	吉野郁夫の本家具展	10月11日~12月23日	●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111	
展覧会	大多喜高校美術部作品展	1月10日~3月29日	その他イベント等	ものけけ調査隊成果報告会「千葉の妖怪伝承」	2月15日
●稲毛民間航空記念館	TEL 043-277-9000		●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311	
その他イベント等	紙飛行機展示会	10月11日~19日	展覧会	開館40周年記念特別企画展「平山郁夫展-私教伝来の軌跡-そして平和の祈り-」	1月24日~3月22日
講演会・講座等	紙飛行機工作教室	12月14日~3月22日	その他イベント等	ホリデーアート シルバーアークセサリー	10月18日、25日
●印西市立印旛歴史民俗資料館	TEL 0476-99-0002		その他イベント等	ワークショップ「クリスマスオーナメントを作ろう」	11月29日
その他イベント等	正月飾りに挑戦!	12月6日	●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	民具から見る昔の印西(仮称)	2月3日~3月11日	その他イベント等	ふるさとまつり	11月3日
●浦安市郷土博物館	TEL 047-305-4300		その他イベント等	むらのお正月	1月23日、3日
展覧会	浦安の農業	11月11日~12月7日	展覧会	特別展「もめん-房総の本流文化-」	10月4日~11月24日
展覧会	浦安の海苔養殖	1月4日~3月15日	●千葉県科学館	TEL 043-308-0511	
その他イベント等	新春獅子舞&鏡開き	1月11日	その他イベント等	千葉市科学フェスタ2014 メインイベント	10月11日~12日
●御宿町歴史民俗資料館	TEL 0470-68-4311		展覧会	「宇宙の日」記念 全国小中学生作文絵画コンテスト作品展	10月17日~11月3日
展覧会	あっと驚く懐かしの教科書展	開催中~11月16日	●千葉県美術館	TEL 043-221-2311	
展覧会	ちよっと昔のくらしの道具展	11月19日~1月18日	展覧会	赤瀬川原平の芸術展 1960年代が現在まで	10月28日~12月23日
展覧会	御宿の文化財めぐり	1月21日~3月29日	展覧会	プラティスラヴァ世界絵本原画展-絵本をめぐる世界の旅-	1月4日~3月1日
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		展覧会	第46回千葉市民美術展覧会	3月7日~27日
展覧会	第15回ミニ展示「スポーツからみた鎌ヶ谷のあゆみ」	9月13日~10月26日	●千葉県立加曽利貝塚博物館	TEL 043-231-0129	
展覧会	企画展「地区の歴史と文化財⑥-中沢-」	2月14日~3月22日(前期):3月28日~5月10日(後期)	その他イベント等	加曽利貝塚縄文ムラまつり	11月8日、9日
●鴨川シーワールド	TEL 04-7093-4803		●千葉県立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
その他イベント等	ジュニアトレーナー	10月4日、5日、11日、13日、18日、19日、25日、26日	展覧会	絵図からみた千葉市の江戸時代	開催中~11月16日
その他イベント等	動物友の会 月例会	10月18、25日、11月15、22日、12月20、27日、1月17、24日、2月21、28日、3月14、21日	その他イベント等	鯨やむかしの着物の着用品体験	10月11日、11月8日、12月13日、2月14日、3月14日
展覧会	2015年干支(未)の生き物	12月中旬~1月下旬	●長南町郷土資料館	TEL 0475-46-1194	
●木更津市郷土博物館金のすず	TEL 0438-23-0011		展覧会	収蔵品展「郷土ゆかりの書と絵画」	10月25日~11月24日
展覧会	特別展「みなとまち木更津400年」	10月4日~12月27日	●DIC川村記念美術館	TEL 0120-498-130	
講演会・講座等	特別展「みなとまち木更津400年」記念講演会	11月下旬	展覧会	五木田智央 TOMOO GOKITA THE GREAT CIRCUS	開催中~12月24日
展覧会	企画展「請書藩林家文書(仮称)」	3月中旬~6月中旬	●流山市立博物館	TEL 04-7159-3434	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		展覧会	企画展「流山の地名を歩く」	10月4日~12月7日
展覧会	「むかしの農具(仮称)」	10月15日~12月7日	展覧会	地域連携巡回展「通運丸で結ばれた関宿-野田-流山」	12月16日~2月15日
講演会・講座等	企画展「関連講演会「久留里鎌(仮称)」	11月22日	講演会・講座等	地域連携巡回展関連講演会	1月17日
講演会・講座等	城を歩こう	2月	●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
●航空科学博物館	TEL 0479-78-0557		展覧会	市民の文化活動報告展「野田の見どころ-おかげさまで10年-むらさきの里 野田ガイドの会-」	10月5日~12月18日
その他イベント等	集まれば全日空港車両 やさしい航空のおはなし	10月19日、26日	●船橋市飛ノ台史跡公園博物館	TEL 047-495-1325	
展覧会	航空アート展	1月1日~3月29日	講演会・講座等	縄文大学	10月1・8・15・22日
講演会・講座等	航空無線通信用受験直前対策セミナー	1月17日、18日	展覧会	企画展「くらしの道具」	10月4日~2月11日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 03-5777-8600		講演会・講座等	考古学講座	1月31日、2月8日、2月14日
展覧会	特集展示 紀州徳川家伝来の楽器-笛-	10月7日~11月16日	●平成美術館	TEL 047-473-1210	
展覧会	国際企画展示 文字がたぐひる民の日本興隆の軌跡	10月15日~12月4日	展覧会	屏風展	11月1日~17日
展覧会	企画展示 大ニセモノ博覧会-ホケモノのてな?-	3月10日~5月6日	展覧会	近代陶芸展	12月1日~20日
●佐倉市立美術館	TEL 043-485-7851		展覧会	蒔絵道具展	2月1日~21日
展覧会	佐倉-房総ゆかりの作家たち-後編の第2回	10月30日~11月16日	●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
展覧会	安井曾太郎の世界-人物画を中心に-	11月22日~12月25日	展覧会	企画展「Plastic/Plastid 高度経済成長とプラスチック」	10月11日~11月30日
展覧会	房総をめぐる風景	2月14日~3月29日	展覧会	館蔵資料展「重要文化財幸田貝塚出土資料展」	12月13日~12月25日
●芝山町立芝山古墳・はにわ博物館	TEL 0479-77-1298		展覧会	学習資料展「昔のくらし探検」	1月14日~3月29日
その他イベント等	勾玉づくり・火おこし体験・古代チーズの試食	11月9日	●睦沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		展覧会	特別展「伊藤左千夫と房総の文学」	10月4日~12月28日
展覧会	鑑賞協会コレクション 日本近代洋画の輝き	10月28日~12月6日	展覧会	第12回顕名品展企画展「俳人-大観雲嶽」	1月24日~3月29日
講演会・講座等	「昭和前期の洋画」河田明久氏(千葉工業大学教授)	11月26日	講演会・講座等	第19回考古学講座「平安時代の家族居展」	3月1日
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
その他イベント等	第4回オクタムフェスタ「昔の暮らし体験フェスタ」	11月3日	展覧会	美術収蔵品展「速水御舟と周辺作家展」	11月15日~12月2日
その他イベント等	第15回縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚	3月29日	展覧会	美術収蔵品展「郷土ゆかりの作家展」	11月15日~12月2日
●市立市川歴史博物館	TEL 047-373-6351		展覧会	美術収蔵品展「花の絵画と芝原人形」	1月24日~3月15日
展覧会	市政80周年事業-歴史博物館企画展「松井天山の鳥瞰図と市川市域」	3月8日~5月10日	●八街市郷土資料館	TEL 043-443-1726	
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		展覧会	企画展「御成街道と八街」	10月15日~12月14日
展覧会	企画展II「袖ヶ浦と鉄道-袖ヶ浦駅と長瀬駅-」	10月4日~11月24日	講演会・講座等	御成街道遷り400年記念 八街歴史講演会「御成街道と八街」	10月25日
展覧会	企画展III「市民学芸員自主企画展(仮称)」	2月7日~4月5日	その他イベント等	「御成街道と八街」現地散策会	11月8日
●館山市立博物館本館	TEL 0470-23-5212		●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
展覧会	新・地区展「北条地区」	11月1日~12月14日	展覧会	「八千代の消防」(仮称)	10月15日~11月16日
展覧会	里見氏安房国替400年特別展第2期	2月14日~3月22日	展覧会	企画展「絵図が語る八千代の風景」	12月2日~2月1日
●千葉県経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9111		その他イベント等	第2回やちよの民俗芸能「神楽」	11月3日
展覧会	学芸員課程調査実習成果展	11月8日~12月16日			
講演会・講座等	古文書講座	1月17日、2月7日			
展覧会	吉野家文書の世界(1)	2月7日~3月14日			

## \* 展覧会案内 \*

市原湖畔美術館  
「原広司：WALLPAPERS」

日本を代表する建築家のひとりである原広司。札幌ドーム、JR 梅田駅などの設計活動の他、世界の集落調査をはじめ、現代の建築を見わたす重要な業績を残しています。原が近年制作しているのが、2500年におよぶ歴史の中で編み出された書物を〈写経〉すること。単なる書き写しではなく、「風景」に変換された文字と色による作品が「壁紙= WALLPAPERS」になぞらえて展示され、美術館に新たな空間を生み出します。



〔左〕領域分割図  
(2014.11.14.東京 夕暮れ)

〔右〕アリストテレス  
「形而上学」第五巻(部分)および「自然学」第三巻(部分)

＜会 期＞10月4日(土)～12月28日(日)  
＜休館日＞月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
＜料 金＞一般800円、高校生・大学生600円、中学生以下無料

国立歴史民俗博物館  
「文字がつなぐ—古代の日本列島と朝鮮半島」

中国で生み出された漢字文化は、朝鮮半島を経由して日本列島にもたらされました。漢字というすでに中国を思い浮かべがちですが、7世紀以前の日本列島の文字文化は朝鮮半島と密接な関係を持っており、それは8世紀以降の社会にも大きな影響を与えています。本展は韓国の研究機関の全面的な協力を得て、文字文化が朝鮮半島から日本列島へ受け入れられ、形づくられていく過程について、最新の古代文字研究の成果を広く紹介します。



〈重要文化財 伏見院宸翰源氏物語抜書 鎌倉時代後期写〉国立歴史民俗博物館蔵  
＜会 期＞10月15日(水)～12月14日(日)  
＜休館日＞月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
＜料 金＞一般830円、高校生・大学生450円、中学生以下無料

佐倉市立美術館  
「安井曾太郎の世界—人物画を中心に—」

昭和の日本洋画壇を代表する安井曾太郎(1888-1955)。浅井忠が指導にあたった皇護院洋画研究所で洋画の基礎を学んだ安井は、フランス留学を経て、人物画において「安井様式」といわれる独自のリアリズムを確立しました。本展では、半世紀にわたる安井の画業を「京都時代からパリ時代まで」、「帰国後の展開」「安井様式の確立」、「戦後の展開」、「素描・表紙絵」の5章に分け、少年期のデッサンから晩年の油彩画までの作品約90点をご紹介します。

《金蓉》1934年 東京国立近代美術館蔵  
＜会 期＞11月22日(土)～12月25日(日)  
＜休館日＞月曜日(祝日の場合は、翌日) ※12月22日は特別開館  
＜料 金＞一般800円、高校生・大学生600円、小・中学生400円

千葉市科学館  
「『宇宙の日』記念 全国小・中学生  
作文絵画コンテスト作品展」

9月12日は、毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで初めて宇宙へ飛び立った日「宇宙の日」です。これを記念し毎年行われている本コンテストで、千葉市科学館に応募された作文および絵画作品全543点を展示します。今年のテーマは「宇宙たんけん」。宇宙がより身近になった今、宇宙への夢や憧れを抱く子どもたちが自由な発想で描く作文・絵画をお楽しみください。



＜会 期＞10月17日(金)～11月3日(月)祝  
＜休館日＞10月27日(月)、28日(火)  
＜料 金＞無料

千葉市美術館  
「赤瀬川原平の芸術原論 1960年代から現在まで」

「ネオ・ダダ」「ハイレッド・センター」に参加し、60年代前衛美術の最前線を代表した作家・赤瀬川原平(1937-)。千円札裁判を闘っていた60年代末からは漫画・イラストの世界にも足を踏み入れ、「櫻画報」などを発表。



《押収品・模型千円札Ⅲ 梱包作品(かばん)》  
1963年 名古屋市美術館蔵

＜会 期＞10月28日(火)～12月23日(火)祝  
＜休館日＞第1月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
＜料 金＞一般1,000円、大学生700円、高校生以下無料

80年代以降は文筆業のかたわら、「トマソン」「路上観察学会」「ライカ同盟」など、路上観察の活動をおこないます。本展は、500点を超える赤瀬川原平の作品・資料を通して、50年におよぶ多彩な活動を一望します。

DIC川村記念美術館  
「五木田智央 TOMOO GOKITA  
THE GREAT CIRCUS」

イラストレーションの分野で特異な才能を発揮し、90年代以降のサブカルチャーに大きな影響を与えてきた五木田智央(1969-)は、10年以上にわたり大型のカンヴァス作品を国内外で発表し続けてきました。美術館での初個展となる本展では、11点の最新作を中心に、未発表のドローイングや国内初公開となる大型作品など約90点を展覧し、多彩な五木田智央の現在に迫ります。



《New Sad》2014年

＜会 期＞8月31日(日)～12月24日(水)  
＜休館日＞月曜日(祝日の場合は、翌平日)  
＜料 金＞一般1,200円、学生・65歳以上1,000円、小・中学生・高校生500円

# 日誌抄

## 事務局

### ■平成26年度事業計画調整

平成26年4月10日(木) 13時30分～16時

会場/千葉県立中央博物館

内容/次年度の各委員会の課題と事業予定案について

### ■平成25年度 第3回役員会

平成26年4月25日(金) 13時30分～16時

会場/千葉県立中央博物館

内容/①平成25年度事業報告・決算報告案について

②次年度の事業計画・予算案及び総会について

## 広報委員会

### ■第1回委員会

平成26年5月23日(金) 14時～16時

会場/千葉市美術館

内容/①「ちばの博物館」編集に係る確認事項について

②「ちばの博物館」134号の編集計画について

③協会ホームページについて

### ■第2回委員会

平成26年8月22日(金) 14時～16時

会場/千葉市美術館

内容/①「ちばの博物館」134号の編集・入稿

②「ちばの博物館」135号の編集計画について

③協会ホームページについて

## 調査研究委員会

### ■第1回委員会

平成26年5月9日(金) 14時～16時30分

場所/八千代市立郷土博物館

内容/①平成26年度の事業計画・予算(案)について

②平成26年度の研究テーマの検討と今後の日程について

### ■第2回委員会

平成26年6月12日(木) 10時～12時

場所/千葉県立現代産業科学館

内容/①研究テーマ「博物館・美術館の危機管理について」の決定

②視察先の検討と今後の日程について

## 研修委員会

### ■第1回委員会

平成26年7月1日(火) 14時～15時30分

会場/千葉県立美術館

内容/①委員の役割分担について

②平成26年度活動計画について

③その他

## 地域振興委員会

### ■第1回委員会

平成26年6月5日(木) 13時～14時

会場/千葉県立中央博物館

内容/今年度の活動について

とくに、博物館資料救済に関する地域ブロック会議の立ち上げについて

## 編集後記

『ちばの博物館』134号をお届けいたします。

各館、各委員会の皆様におかれましては、情報提供または原稿作成にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

千葉県博物館協会では、ホームページにある「おもしろ豆知識」の内容充実を図っていくことを考えています。加盟館の中で、日頃の活動で発見された豆知識を広く発信していきたいという館・園がありましたら、広報委員会までご連絡ください。(土屋)

## 印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・  
ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102

営業時間/9:00～18:00 定休日/日曜・祝日

TEL.047(437)6208



関東港業株式会社  
KANTO KOGYO Co., Ltd.

博物館、美術館資料の  
保存環境調査及びコンサルタント  
専用くん蒸庫完備

〒261-0002

千葉市美浜区新港58-2

TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080

http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画/デザイン・設計・施工・管理  
ONY KOBO CO., LTD.  
株式会社 鬼工房  
東京本社：東京都千代田区神田神保町 2-48  
TEL 03-3221-1102 FAX 03-3221-1183